

(提案型協働事業 検証シート)

協働事業の概要	事業名称	歴史建築観光サポーター養成事業		
	団体名	特定非営利活動法人 阪神文化財建造物研究会	市所管課	歴博・文化財担当、開発指導課、シティプロモーション事業担当
	事業の趣旨・内容	<p>尼崎市は歴史と文化に富む地域があり、歴史文化を体現した歴史的建築物が存在している。しかしながら、その歴史的建築物を活かした地域活性化や観光振興及び歴史的建築物の保存・継承は十分とは言えず、特に市民がそれらに関わり協力していく活動状況は多くない。</p> <p>そこで、歴史的建築物を中心とした文化財全般・市内の歴史的建築物を紹介する座学や市内の歴史的建築物へ出向き、その歴史や構成、文化的背景を学ぶ現地学習会を行うことにより、地域の歴史的建築物を活かした地域活性化を市民レベルで応援する観光文化サポーターの養成を行う。</p>		
	協働における行政の役割	事業内容検討、広報協力、会場提供、講師		
	協働における市民の役割	事業内容検討、広報活動、会場準備、資料作成、講師、アンケート調査		

市民と行政のこれまでの動き

年月	できごと
平成29年2月	・団体と市所管課の事前打ち合わせ
6月	・協定書締結、補助金交付決定
6～8月	・講座の企画 ・チラシ作成
8月	・市報掲載
9～2月	・講座実施(計7回)

評価会議における意見など

1	<p>具体的なサポーターの役割が判然としないところはあった。歴史的建築物の活用法や、より多くの市民に登録文化財を認識してもらえるような企画に関わってもらうことなどを考えてみてはどうか。</p>
2	<p>登録文化財が地域の資産として愛着を持ってもらえるよう、サポーターになられた方から、ユーザーサイドの視点で提案してもらえるようになってほしい。</p>
3	<p>どのような手段をとったことで若い人の参加に繋がったのか、また、参加者の意識が高まったのかなど、有効な手段や課題点などの振り返りを行い、今後につなげてほしい。</p>

評価会議からの提案事項及び所管課意見

評価会議からの提案事項	所管課意見
	<p>受講生が歴史的建築物の保存や活用、地域活性化・観光振興への寄与に強い関心を持ち、学びたいという高い意識を持っていることを、協働の相手方として感じた。提案型協働事業としては今後につなげることはできなかったが、別のボランティア活動や阪神文化財建造物研究会の事業を通じて、この経験を活かしていただきたい。</p>

市 総括

<p>実施団体の持つ歴史的建築物に関する経験と行動力に、行政の信頼度や調整力が付加され、協働の成果を發揮することができた。目的としていた観光文化サポーターの養成には至らなかったものの、本事業によって3者(行政、実施団体、受講生)の新たな関係性が構築されたことは、各主体における今後の事業の発展に寄与する可能性を有している。</p> <p>本制度を活用した形での協働関係は終了したが、一つの主体だけでは解決することができない課題があるといった場合には、本事業によって構築した関係性を活かし、適宜協力して事業が展開されるよう期待したい。</p>
--

以上